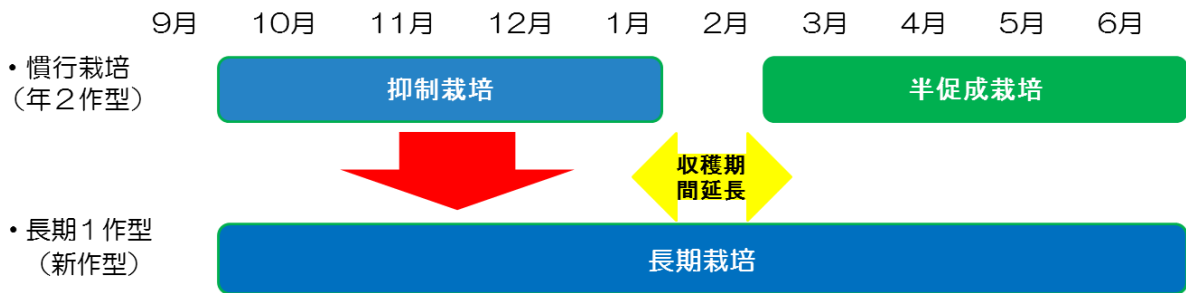


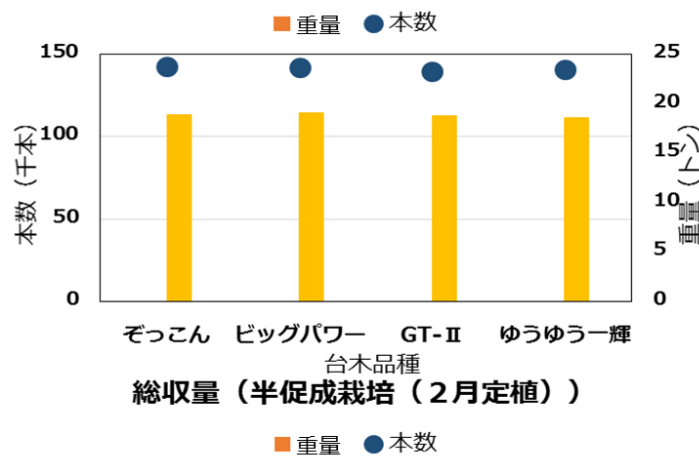
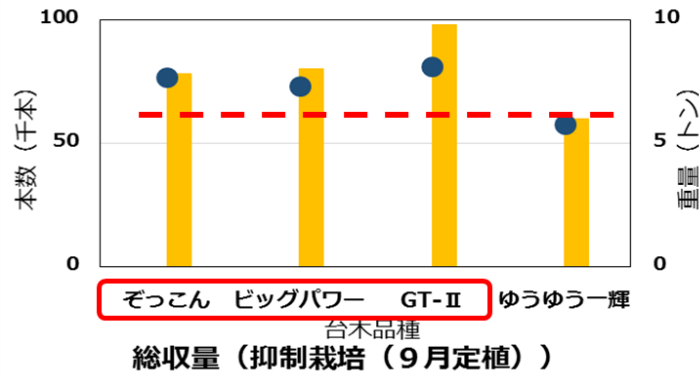
キュウリの収穫期間を長く！

ハウスで生産されるキュウリの収穫期間を長くするため「長期1作型」における安定生産のための栽培方法を検討しました。

秋から翌年の春先まで厳冬期を挟み、長期間栽培を行う「長期1作型」に適した台木を選定するため、穂木に「千秀2号」を用いて抑制栽培と半促成栽培に分けて台木品種を検討しました。低温期にも収穫を行う抑制栽培では、「ゆうゆう一輝」に比べ「ぞっこん」、「ビッグパワー」、「GT-II」の収量が優れ、半促成栽培では、いずれの品種も同程度の収量でした。このことから、前述の3品種を使うことにより低温期を経過する「長期1作型」の安定生産が可能となり収穫期間を1ヶ月程度長くできます。



慣行栽培と長期1作型



各作型の収量調査

(穂木品種: 「千秀2号」、10a 当たり収量)

(施設園芸先端技術研究担当 TEL 048-536-3091)